

インド繊維市場調査報告書

2005年1月

独立行政法人

中小企業基盤整備機構

はじめに

日本の繊維産業は、国内の景気の低迷に伴い、繊維・繊維製品の国内需要も低迷している。また、最近5年間のうち、中国等の東アジアからの繊維製品輸入が急増している。このような中で、日本の繊維産地は年々繊維・繊維製品の生産量が減少傾向にあり、繊維産地の空洞化等の諸問題が発生し、抜本的な改革が求められている。

一方、世界の繊維貿易においては、WTO（世界貿易機関）の繊維協定が2004年末を以って失効し、繊維貿易のルールがWTO一般ルールに統合されることになった。これに伴い、繊維産業を取り巻く環境が激変することになる。日本の繊維産業が、この貿易自由化により大きく変化する世界の繊維市場で生き残るためには、国際競争力を強化し、輸出を振興することが重要である。

インドは世界有数の繊維生産国・貿易国であるが、国内産業保護政策色が以前から強く、高関税であることから、日本の繊維・繊維製品輸出は2003年で5,100万ドル（全世界のシェア0.7%）と僅かな輸出額にとどまっている。

しかしながら、インドは10億人を超える人口を有し、経済的にも1991年以降自由経済体制への転換による経済改革を実施し、安定的な経済成長率、外貨保有を持続し、富裕層の急速な拡大が進展している。

また、インドの繊維産業は、繊維協定の失効により、国際化が更に進展し、全世界が注目する繊維市場に発展する可能性を有している。

こうした中、日本の繊維・繊維製品の輸出市場として、中国のほかにインドが有望な市場として期待できるため、将来的市場を確保する観点から、インド繊維産業の現状及び繊維協定失効後の同国繊維産業の変貌等を予測する必要がある。

以上の観点から、日本の繊維・繊維製品の輸出の新たな市場として開拓・確保を図ることを目的として、インド繊維産業の動向及び市場性等について調査・研究を行った。

今後世界で発展が期待される、いわゆるBRICs（ブラジル、ロシア、インド、中国）の一角を占めるインドへの繊維輸出の手がかりとして、本調査報告書が参考になれば幸甚である。

最後に、本調査に当たり、多大のご尽力、ご支援を賜りました関係機関に、心より感謝申し上げます。次第です。

中小企業基盤整備機構
経営基盤支援部 繊維産業課

インド繊維市場調査団

(敬称略)

	氏名	所属企業・団体名
団長	笠松 幸一	伊藤忠商事株式会社 繊維経営企画部部長代行
団員	西田 良司	丸紅株式会社 繊維総括部 大阪総務企画課長
〃	尾坂 吉三郎	三菱商事株式会社 繊維原料資材部 部長代行
〃	岩尾 京一	日本繊維輸出組合 総務・企画部

インド繊維市場調査団調査日程表

	月 日	都市名	現地時間	訪問・視察先等
1	11 / 21 (日)	大阪発 ニュー・デリー着		
2	11 / 22 (月)	ニュー・デリー	10 : 00 11 : 30 15 : 00 16 : 00	ジェトロ・ニューデリー・センター(伊藤所員) 訪問 Ansal Plaza (ショッピング・センター) 視察 東京三菱銀行ニュー・デリー支店(長谷川副支店長) 訪問 Kahn Market (伝統的商店街) 視察
3	11 / 23 (火)	ムンバイ	10 : 30 15 : 00 16 : 30 19 : 30	Welspun 社 (大手タオル・メーカー ; Roman Khanna=シニア・マネージャー、Mukesh Savlani=アシスタント・マネージャー) 訪問 FAITMA (全インド繊維製造業者協会連盟 ; Pawn Poddar 会長以下 8 名) 訪問 Country Road 2 (ショッピング・センター) 視察 現地駐在員 (伊藤忠商事、三菱商事) と会合
4	11 / 24 (水)	ムンバイ	10 : 00 11 : 30 15 : 30	ジェトロ・ムンバイ事務所 (永盛所長) 訪問 The Shirt Company (繊維・縫製一貫企業 ; Shivanand B. Shetty 会長、Aswin Shetty C.E.O.) 訪問 INORBIT (ショッピング・センター) 視察
5	11 / 25 (木)	バンガロール	10 : 00 13 : 00 14 : 00	Gokaldas Images 社 (インド NO.2 縫製企業 ; Jagadish Hinduja マネージング・ディレクター以下 3 名) 訪問 ファッション・ストリート視察 Manipal Apparels 社 (縫製工場 ; Raghu Sherigar パートナー) 訪問
6	11 / 26 (金)	バンガロール発		
	11 / 27 (土)	大阪着		